

スポットクーラーの取り扱いについて

供給空気圧	性能上効果的な供給圧力は5~8kg/cm ² です。 供給圧力7kg/cm ² での空気消費量は425 l/minです。
配管寸法	3/8 (内径) のアースを御使用下さい。
エアーフィルター	ドレンフィルターの御使用をお勧め致します。 * この場合本機との距離は出来るだけ短くして下さい。 * セットにはArrow Pneumatics社 (米国) の手動式ドレンフィルター (MODEL=F300-2) が付いています。 ・定期的にフィルター内の排水を行って下さい。
冷風の使用	本機は圧縮空気を供給すれば、直ちに冷風を出します。 冷却箇所により二種 (丸、角) のノズルを使い分けて下さい。 ホースキットは出来るだけ短く、又対象物には出来るだけ近づけて下さい。 電磁弁等を利用し、周期的な圧縮空気のオン・オフ制御をおこなえば空気消費量の節約が可能です。 冷風量の調節は供給圧力を調節することにより可能です。 * 圧力を低くすれば、冷風量及び空気消費量も少なくなります。
マグネットベース	マグネットベースの位置は熱風出口のピンソチの穴で本体を回転させることにより調節、変更が出来ます。
保 守	スポットクーラーには動く部品はありません。供給アースの濾過を正しく行えば、通常保全の必要がありません。 但し、内部の洗浄が必要になった場合は次の手順で行って下さい。 ① ピンソチ (穴) を利用し、冷風マフラーを本体からはずして下さい。 ② 本体の部品 (ジェネレーター、リング etc) を取り外して下さい。 汚れていないか点検し、必要に応じて洗浄して下さい。アース等で水分や塵等除去して下さい。 ③ マフラーは液体に浸けないで下さい。 ④ 取り外した逆の手順で組み立てて下さい。

スポットクーラーが正しく機能しない場合

下記の項目についてチェックをお願い致します。

- 1 : 供給空気圧 適切な圧力は5~8kg/cm²です。
入口の圧力が上記圧力になっているか計測して下さい。
- 2 : 供給空気温度 供給空気温度が著しく周囲の温度より高い場合 (圧縮空気が天井の中、炉の近く、直射日光の中を通過して配管されている) は、周囲温度と比較して、適切な冷風が得られない事があります。
- 3 : 背圧 0.14kg/cm²以下の低い背圧は影響しませんが、0.35kg/cm²の背圧は約3割性能に影響します。